

今日、京響?

Kyoto Symphony Orchestra

# 京都市交響楽団

## 第597回定期演奏会

The 597th Subscription Concert of  
the Kyoto Symphony Orchestra

### 広上淳一のアメリカン・プログラム ～コリヤ・ブラッハーのバルトーク～

2016  
**1/23**土  
**1/24**日

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

Sat, January 23, 2016 / 2:30PM

Sun, January 24, 2016 / 2:30PM

Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前(午後2時10分ごろから)は  
指揮者による「プレトーク」、  
終演後は「レセプション」でお楽しみください。  
「プレトーク」はホール・ステージ上にて、  
「レセプション」はホール・ロビーにて開催します。



バルトーク：ヴァイオリン協奏曲第2番  
コープランド：バレエ組曲「アパラチアの春」  
ガーシュウィン：パリのアメリカ人

Bartók : Concerto for violin and orchestra No.2  
Copland : "Appalachian Spring" ballet suite  
Gershwin : An American in Paris

指揮：広上 淳一  
(常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー)  
Conductor : Junichi HIROKAMI  
(Chief Conductor & Music Advisor)

入場料 **S ¥5,000** **A ¥4,500** **B ¥3,500** **P ¥2,000** (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S ¥2,000** **A ¥1,500** **B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売  
(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。  
(お子様お1人につき1,000円 / 2016年1月15日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。  
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

- ・京都コンサートホール (075) 711-3231 (ホームページからオンラインチケット購入もできます)
- ・チケットぴあ (0570) 02-9999 Pコード 248-309
- ・ローソンチケット (0570) 000-407 Lコード 58637

お問い合わせ
京都交響楽団 (075) 711-3110
▶ http://www.kyoto-symphony.jp/
京都コンサートホール (075) 711-3231
▶ http://www.kyoto-ongeiun.jp/kyotoconcerthall/

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。  
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

ヴァイオリン：コリヤ・ブラッハー  
Violin : Kolja BLACHER  
©Bernd Buehmann

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music  
Foundation  
ロームミュージックファンデーション



2016.1.10 OPEN  
ロームシアター京都  
ROHM Theatre Kyoto

# 京都市交響楽団 第597回定期演奏会

The 597th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

前半では、マエストロとは旧知のコリヤ・ブラッハーがゲスト。共演曲はヴァイオリンに高い技巧が要求されるバルトークの協奏曲第2番。管弦楽にも重きを置かれた、バルトークならではの響きをお楽しみください。後半は京響定期初登場のコーブランド「アパラチアの春」と、ガーシュウインの代表作「パリのアメリカ人」で、アメリカン・サウンドの王道をご堪能いただきます。

指揮 **広上 淳一** (常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー)

Conductor : Junichi HIROKAMI (Chief Conductor & Music Advisor)

東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。1991~95年にはノールショピング交響楽団、1998~2000年にリンブルク交響楽団の各首席指揮者を、1997~2001年ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、1991~2000年には日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を歴任している。近年では、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、ボルティモア響、シンシナティ響、カルガリー・フィルハーモニック、スタヴァンゲル響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ポーランド放響、スロヴェニア・フィル、サン・パウロ響等へ客演。2006~08年には米国コロムビア交響楽団音楽監督を務め、ヨーヨー・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとの数々の名演とともに Denon レーベルにはチャイコフスキーの録音を残し、その実力を内外に知らしめた。2007年夏にはサイトウ・キネン・フェスティバル本木に招聘され、ハイドンとラフマニノフ、2008年5月には水戸室内管弦楽団の指揮台に立ち、モーツァルト、ベートーヴェンほかのプログラムとともに絶賛を博した。オペラ指揮の分野でも1989、90年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのははじめ、最近では、新国立劇場《椿姫》、日生劇場《フィガロの結婚》が記憶に新しい。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。京都市立芸術大学客員教授。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」を受賞。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者、2014年4月からは第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに就任。



Photo : Greg Sailor

ヴァイオリン **コリヤ・ブラッハー**

Violin : Kolja BLACHER

ベルリンで豊田耕児、ジュリアード音楽院でドロシー・ディレイ、ザルツブルクでシャンドール・ヴェーグに師事。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスターを6年間務めた後、世界各国でソリストとして活躍し、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団 (NDR)、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団等と共演。指揮者では、クラウディオ・アバド、キリル・ペトレンコ、ダニエル・バレンボイム、ドミトリー・キタエンコ、マリス・ヤンソンス、マティアス・ピンチャー、ウラディーミル・ユロフスキ、マルクス・シュテンツなどと共演している。レパートリーはバツハからバリオまで幅広く、古典派からロマン派までの重要な曲目や現代曲も得意とする。近年は、弾き振りで定期的にマーラー・チェンバー・オーケストラ、シュトゥットガルト室内管弦楽団、ルツェルン音楽祭弦楽合奏団、カメラータ・ベルン、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、香港フィルハーモニー管弦楽団等と共演している。2014/15シーズンのデュースブルク・フィルハーモニー管弦楽団のアーティスト・イン・レジデンスを務め、室内楽では、キリル・ゲルシュタイン、クレメンス・ハーゲンとのピアノ・トリオでも活躍している。録音の分野でも非常に高い評価を受けており、親交の深かったアバドとの「ストラヴィンスキー、ベルク：ヴァイオリン協奏曲」は数々の賞を受賞した。2015年にはOehmsレーベルより、マルクス・シュテンツ指揮ケルン・ギュルツェニヒ管と録音したシェーンベルクのヴァイオリン協奏曲をリリリース。1999年からハンブルク国立音楽大学の教授を務め、現在はベルリンのハンズ・アイスラー音楽大学の教授として後進の指導にあたる。バルト系ドイツ人の作曲家ボリス・ブラッハーを父に持ち、ベルリンで生まれ育つ。使用楽器は1730年製ストラディヴァリウス「トリトン」と呼ばれる名器で、キミコ・パワーズ氏より貸与されたものである。



©Bernid Buehmann

## 京都市交響楽団 *Kyoto Symphony Orchestra*

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2010~13年広上淳一指揮の定期演奏会ライブ録音CD「名曲ライブシリーズ」を3枚リリース。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」及び広上淳一と京響で「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には、広上淳一指揮のもと、18年ぶりのヨーロッパ公演を開催して成功を収め、2016年の創立60周年という節目に向け、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進を図っている。



2015 11/21(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2015 12/26(土)から発売!

### 第598回定期演奏会

大友直人の自然讃歌  
~エルガー、チェロ協奏曲VS今井信子~

日時：2016年2月14日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

指揮：大友 直人 (桂冠指揮者)

独奏：今井 信子 (ヴァイオリン)

曲目：エルガー：弦楽セレナード ホ短調op.20

エルガー：チェロ協奏曲ホ短調op.85 (ヴァイオリン版)

ドヴォルザーク：交響曲第8番ト長調op.88



©Rowland Kirishima



©Marco Borggreve

### 第599回定期演奏会

運命の打撃、高関健のマーラー“悲劇的”

日時：2016年3月12日(土) 午後2時30分開演

2016年3月13日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

指揮：高関 健 (常任首席客演指揮者)

曲目：マーラー：交響曲第6番イ短調「悲劇的」



©Masahide Sato

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)